

概要版

# 第3次甲斐市地域福祉計画

甲斐市成年後見制度利用促進基本計画

令和4年度～令和8年度



令和4年3月



甲斐市

## 1 計画策定の背景と目的

わが国では、少子高齢化や人口減少が進んでいる中、高齢者世帯や単身世帯の増加により、社会的孤立や、80代の親とひきこもりがちの50代の子が同居することによる問題（8050問題）、介護と育児に同時に直面する世帯（ダブルケア）、本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を未成年者が行う（ヤングケアラー）、世帯全体が孤立している状態など人々の暮らしの中での課題は複雑化・多様化しています。

また一方で、ライフスタイルの多様化等により、かつてあったような地縁・血縁・社縁や地域住民のつながりが希薄化していき、地域社会との関わりを断ち、孤立して生活している人が増加するとともに、地域における様々な活動や支援の担い手の確保が難しくなってきました。

そのような中で、地域の絆はより重要であり、地域コミュニティの活動の継続など、日常からの顔の見える関係づくりが必要とされています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、行政の福祉制度によるサービスだけでなく、地域住民主体の地域福祉活動、地域・専門職・行政が垣根を越えて連携していくことが求められています。

## 2 地域福祉計画の位置づけ

本計画は、社会福祉法第107条に基づく「市町村福祉計画」として策定し、本市における地域福祉の方向性の総合的な指針となるものです。

また、本計画は、「第2次甲斐市総合計画」と「甲斐市国土強靱化地域計画」を上位計画とし、障がい者計画、障がい福祉計画・障がい児福祉計画、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画をはじめ、他の個別計画との整合性を図るとともに、甲斐市社会福祉協議会の「第3次甲斐市地域福祉活動計画」との連携を図りながら推進します。

## 3 計画期間

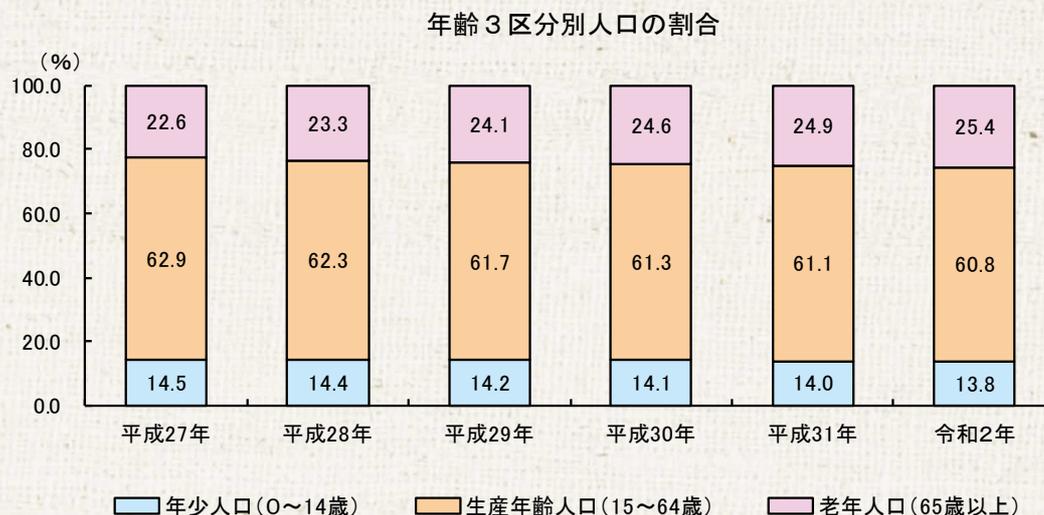
本計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

計画年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	第2次（後期基本計画）					第3次	
国土強靱化地域計画			国土強靱化地域計画				
<b>地域福祉計画</b>	<b>第2次</b>		<b>第3次</b> (成年後見制度利用促進基本計画)				

## 4 地域福祉を取り巻く現状

### ○年齢3区分別人口の割合

年齢3区分別人口の割合をみると、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が減少傾向にあるのに対し、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、令和2年で25.4%となっています。



## 5 基本理念

本市では、「第2次甲斐市総合計画」において、市の将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」をめざし、施策を推進しています。

本計画では、総合計画の将来像や福祉・健康分野において掲げられている「健やかで心ふれあう安心して暮らせるまち」という基本目標を踏まえるとともに、国が示す地域共生社会の実現をめざし、前計画の基本理念『一人ひとりが手をつなぎ ぬくもりあふれる 福祉のまちづくり』を継承し、本市に暮らすすべての人が、支援の「支え手」、「受け手」という関係を超えてつながり、支え合い、助け合いの輪を広げることで、誰もが心豊かに暮らせるまちを目指します。

一人ひとりが手をつなぎ ぬくもりあふれる  
福祉のまちづくり

# 6 体系図

[ 基本理念 ]

[ 基本目標 ]

[ 施策 ]

一人ひとりが手をつなぎ  
ぬくもりあふれる福祉のまちづくり



成年後見制度利用促進基本計画



## 7 計画の基本目標

基本理念の実現にあたり、次の4つを重点的な基本目標として策定します。

### 基本目標1 人とのつながりと支え合いを大切にしまちづくり

地域福祉を推進する上で、一人ひとりが支え合い、助け合いの意識を持ち、自分が暮らす身近な地域で起きている問題に対し自ら参画し、解決につなげていくことが必要です。

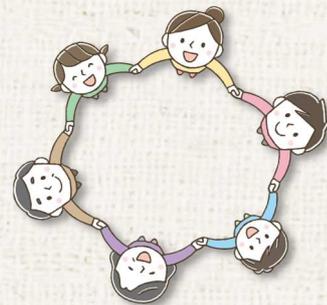
#### (1) 地域福祉への意識啓発

あらゆる年齢層の人が地域福祉について学び、高齢者や障がいのある人に対する理解が促進されるよう、関係機関と連携して情報発信を行い、研修や講演会等のイベント実施を支援します。



#### (2) 交流の場と活躍の場づくり

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、日頃から近所付き合いの中で声かけや見守り、サロン活動への参加などを通じて、何かあったときは助け合える地域づくりを進めます。



#### (3) 地域における協力体制の構築

地域での活動の促進に向けて、住民が積極的に参加できるように、情報提供やコーディネートを行います。

また、地域での交流を促進し、支え合いの輪に子どもから高齢者までのすべての人が参加することで、地域に関心をもつ人を増やしていきます。



#### (4) ボランティア活動の推進

地域での支え合い、助け合いの意識を育むため、福祉に関する講座の開催などを通じて、ボランティアへの参加のきっかけづくりや、各種講座等を通じて、地域福祉活動の担い手を育成していきます。



## 基本目標2 地域生活を支える協働のまちづくり

市民をはじめ、地域で活躍する各種団体による福祉活動を支える一方で、各主体がつながり、連携を図る場や、一つの主体だけでの問題解決が難しいケースでは、各主体が協働で支える仕組みや情報を共有する仕組みが必要です。

### (1) 地域福祉ネットワークの充実

ボランティア団体や社会福祉協議会が中心となり、ボランティア活動に関する情報発信や支援を行うとともに、団体間のネットワークづくりのための交流機会や講習等、市民活動の活性化につながるよう支援します。



### (2) 地域を支える担い手づくり

担い手の高齢化・固定化が進行しており、若い世代の地域福祉活動への参画が不足しています。世代間交流を活性化させて新たな担い手の確保を推進します。



## 基本目標3 誰もが利用しやすい福祉サービスが提供できるまちづくり

支援を求める人に支援が行き届くよう、福祉に関する情報提供をはじめ、行政による相談はもちろんのこと、地域で活躍する各主体による相談も含めた幅広い相談体制の充実を図ります。

### (1) サービスが利用しやすい仕組みづくり

誰もが安心してサービスを利用できるよう、子育て支援、高齢者福祉、障がい福祉などに関する情報の提供体制の充実を推進し、福祉の各分野を超えた包括的な支援体制を整備します。



### (2) 誰もが相談しやすい体制づくり

日常生活の困りごとや悩み等について、地域のサロン等で相談ができたり、民生委員等をはじめとする地域の人々が身近な相談役になれたりするよう、地域での取組を支援していきます。



## 基本目標4 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

誰もが、地域で安全・安心に暮らせるよう、「地域の安全は地域で守る」という考えのもと、日頃から地域の助け合いを進め、地域の防災・防犯体制を整備し、安全で安心して暮らせる快適なまちづくりに取り組みます。

### (1) すべての人の権利を守るまちづくり

地域の支え合い、助け合い体制を維持しながら、支援を必要とする要配慮者に対して、様々な専門機関等との連携を推進し、地域のネットワークを充実させ、適切な対応を行っていきます。



### (2) 健康で暮らせるまちづくり

誰もが尊厳をもって健康で不自由なく、安心して暮らすことができる地域をつくるため、市民・地域団体・市・社会福祉協議会が協働して福祉のまちづくりに取り組みます。また、甲斐市版ネウボラを推進し、母子保健対策の充実に取り組みます。



### (3) 住みやすいまちづくり

移動が困難な人のための公共交通や福祉交通の充実、移動しやすい歩道、子ども連れや高齢者などに配慮した施設の整備等、誰もが利用しやすいまちの整備を進めます。



### (4) 安心して暮らせるまちづくり

地域での見守り体制の強化や防犯情報の共有化を図り、地域・学校・家庭等の連携による地域ぐるみの防犯活動を推進します。また災害時や緊急時には地域での自主防災体制の強化を図り、支援体制の強化を図ります。



## 8 成年後見制度利用促進基本計画

### (1) 本計画における目的

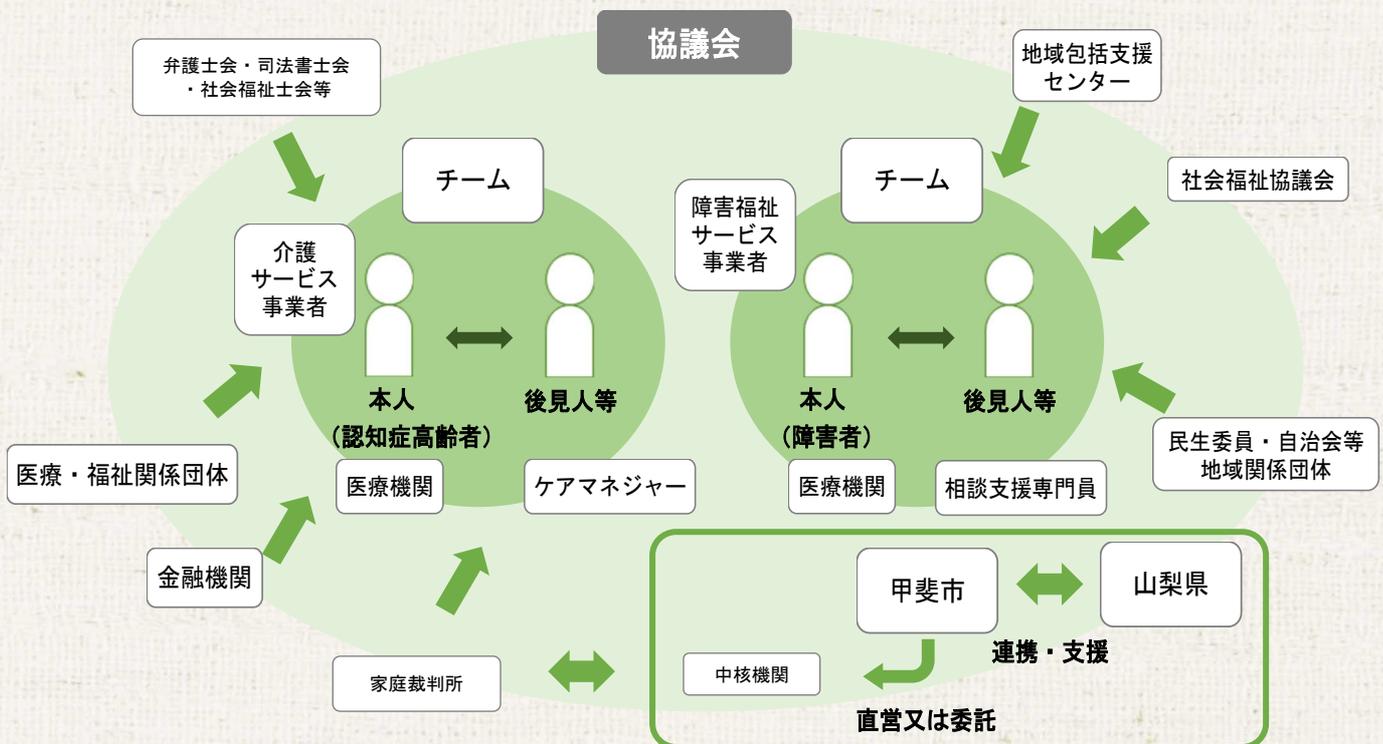
認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を円滑に利用できるよう支援を行い、権利を尊重し擁護することにより、地域で安心して生活できる社会の実現を推進することを目的とします。

### (2) 基本的な考え方

これらの目的を達成するため、以下の仕組みを構築します。

- ・地域連携ネットワーク：権利擁護支援の必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携の仕組み
- ・中核機関：成年後見制度に関して、権利擁護支援の地域連携ネットワークのコーディネートを担う中核的な機関
- ・協議会：法律及び福祉の専門職団体並びに関係機関が連携体制を強化し、自発的に協力する体制づくりを進める合議体

### (3) 地域連携ネットワークのイメージ



第3次甲斐市地域福祉計画（甲斐市成年後見制度利用促進基本計画）【概要版】

発行：甲斐市 福祉部福祉課

〒400-0192 山梨県甲斐市篠原 2610 番地

電話：055-278-1691 F A X：055-276-2113

※本概要版は、「第3次甲斐市地域福祉計画」を要約・抜粋したものです。